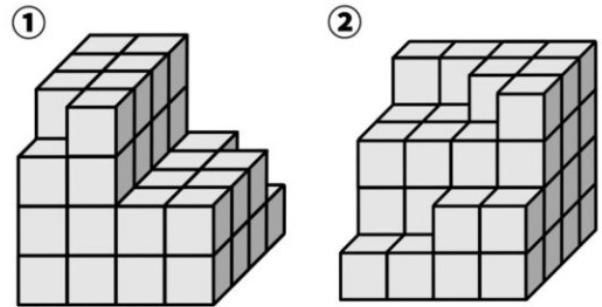




明日は三滝祭です。合唱はずいぶん上達したのではないのでしょうか。また、文化部のみなさんは、展示等に力を注いでいましたね。明日は、気持ちよく三滝祭を楽しんでください。

【前回の問題の解説】

まずは、すべてブロックを積むと、ブロックはいくつ必要でしょうか。これは簡単ですよ。縦、横、奥行きともに、ブロックは4つ並んでいますから、 $4 \times 4 \times 4 = 64$ 個のブロックが必要となります。列で考えると、16個のブロックが必要になります。



①の場合、左端のブロックは1つ抜けていますので15個、その隣はブロックが抜けていないので16個、左から3列目は2段だけなので8個、4列目は2段で1つ抜けていますから7個です。

合計すると、 $15 + 16 + 8 + 7 = 46$ 個となります。

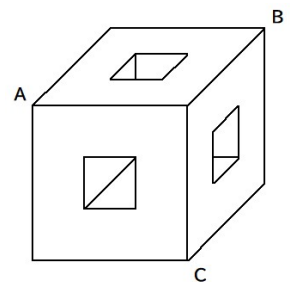
②の場合も、①と同様に数えることができます。例えば手前の列から数えると、6個、13個、14個、16個なので、49個となります。

さて、もっと簡単に数えることも考えたいですね。例えば、ブロックの凸凹をなるべく減らしたり、ブロックを移動して、同じ高さ（縦の数）の柱を作ったりして、数えやすい方法を考えられるといいですね。



【本日の問題】

右の図は、「立方体の各面の真ん中に、面に垂直な方向に正四角柱の穴をあけた立体」です。この立体を、A、B、Cの3点を通る平面で切ったとき、切り口はどんな図形になるでしょうか。



ただし、穴の正方形の一辺は立方体の一辺の1/3とします。

ヒントではありませんが、まったくイメージできない人は、まずは穴がない立方体をA、B、Cの3点を通る平面で切ったときの切り口を考えてみてください。



<おまけ>

この通信の4号で、脳の話を書きました。そして、暗記と記憶のことも書きました。期末テストもそこまで来ていますので、この「記憶」について伝えます。



学習したことを、①翌日に復習②翌々日に復習③1週間後に復習④2週間後に復習といった4パターンで比較すると、復習までの日数が長い方が学習の内容が定着しやすいという結果だったそう。逆に言えば、一夜漬け（テスト前夜にまとめて勉強する）は最も効率が悪いのである。期末テストまでに、どんな計画を立てると有効か考えて取り組んでください。